



編集長：カ ハンハン（経済3）

副編集長：リュウ ハイキン（経済3）、スレスタ ラシム バハドゥアー（環境3）

編集員：ゲン ロ（経済2）、サヒ ラダ（経済2）、ホアン バン バー（経済2）、

リュウ キョウ（経済2）、ラナブル バハドゥル（環境2）、ヴ ヴァン ナム（環境2）



第14回四日市大学留学生日本語弁論大会お知らせ

毎年恒例の「第14回四日市大学留学生日本語弁論大会」を開催します。日ごろの留学生生活において、感じていること、考えていること、母国と日本の違い、またこれからの日本社会に対する提案などについて発表します。

たくさんのご来場をお待ちしております。

日時：平成30年1月8日（月） 開場10:20 開演10:30

場所：四日市大学 311教室

主催：四日市大学

後援：四日市市、四日市北ロータリークラブ、

国際ソロプチミスト三重 - 北

※入場無料事前申込み不要



Discover Japan 日本再発見の旅

7月14日に授与式が行われた「宗村南男記念 - 留学生による日本再発見の旅 - Discover Japan」の受賞者たちが、受賞した企画で研修旅行を実施しました。受賞したのは、中国出身の3人が企画した京都を訪ねる旅で、8月8日から11日にかけての3泊4日の内容です。下記は受賞者の一人、環境情報学部2年生チョウ トクイさんのレポートです。

京都の旅

「宗村南男記念 - 留学生による日本再発見の旅」のおかげで、「京都の旅」に行ってきました。日本の伝統文化に触れ、美しい自然の景色を見ることができ、大変素晴らしい旅でした。

この4日間で一番印象に残っているのは、2日目に訪れた京都国立博物館です。まず、国立博物館のロビーに入っただけで、美しい菩薩像に目が釘付けになりました。近づいて見ると、まるで生きているかのように穏やかな表情で、心に迫ってくる感じがしました。その繊細で優美な彫刻に、昔の人が心を込めて丹念に作り上げた技術の結晶を見たようで、感動しました。2階には、美しい龍門図、雲龍図屏風、東山名所図屏風や線彫四面仏石など、多くの重要文化財がありました。大変、勉強になりました。

世界遺産である下鴨神社では、京都の三大祭りの一つである葵祭りが行われるなど、古代の祭事や芸能を継承しているということを知り、また、境内の紵の森の美や幽すいな風景の美しさを実際に見ることができて、得るものがとても多かったです。

次に、八坂神社、清水寺、六道珍皇寺や漢字博物館に行きました。漢字博物館では、万葉仮名で名前を作るとか、カタカナ、ひらがな「もとの字」スタンプとか、漢字がどうやって作られたのかなど、色々学びました。また、毎年12月に発表される「今年の漢字」が、1995年に漢字の持つ素晴らしさや奥深い意義を伝えるための啓発活動の一環として始まったことが分かりました。毎年、その年の世相を表す漢字一字を全国から募集して、最も応募数の多い漢字が12月12日に京都の清水寺で発表されます。そして、一年を振り返り、選ばれた漢字一字から、様々な出来事を回想することができます。

あかりデザイン工房では、和紙照明の製作を行いました。まず、自分の好きな照明の形を選び、デザインを考えて和紙を貼り付けます。京都旅行に素晴らしい思い出を追加しました。

最後の日に、嵯峨嵐山に行きました。渡月橋や竹林の小道など観光客も多く、町が賑やかで、食べ物も美味しかったです。特に、抹茶ケーキが好きになりました。そして、嵐山のトロッコ電車に乗って、山を走り抜けました。左右に緑美しい山々を眺めながら、溪流では川下りする船を何艘も見ました。忙しい留學生活の合間に、新鮮な空気を吸い、美しい景色を見て、気持ちもリラックスできました。今回の京都旅行は、私の心に大切な思い出として残っています。日本の文化を理解する上で、この「留学生による日本再発見の旅」は、とてもよい企画だと思います。私たちに、このような経験をさせていただき、ありがとうございました。心より感謝いたします。

受賞者 環境情報学科4年 チョウ タンコウ

経済経営学科2年 リュウ キョウ

環境情報学科2年 チョウ トクイ



学生の声

新ゼミの感想

入学した時にはゼミという言葉は全く分かりませんでした。半年くらいを経て先輩から様々な話を聞きました。そもそもゼミというのは2年次の後学期からゼミ先生と卒業まで、具体的な話題とか専門的な研究を深く学ぶ事だと思います。では新ゼミについての感想を書かせて頂きたいと思います。

入学式の直後に先生から、様々な大学のことを教えて頂きました。その先生は経営会計コースの先生の1人だとのことを知り、経営会計コースを学ぼうと思いました。そして入学してからあっという間に1年間半が経ち、研究コースとゼミを選択する時期がやってきました。第一希望だったゼミはベトナム経済を中心に研究するゼミだったので希望しましたが、残念ながら希望者が多く入れませんでした。しかし、今のゼミでしっかり研究し頑張っていこうと思っています。もしゼミ変更のチャンスがあれば、また希望を出したいと思っています。

今は日本人の先生とベトナムの経済や日本との経済流通と一緒に研究したり、話し合ったりすることができています。やはり「ゼミ」という形にまだしっかりと慣れていないけど、一般の授業と違って、ゼミは専門的な知識深いところまで知識が身につけられ、そして日本語能力も上がったように感じています。これから、卒業まで頑張っていこうと思っています。

経済学部経済経営学科2年生
ホアン バン バー

将来の計画

四日市大学の経済学部経済経営学科の3年生のカハンハンです。来日してから4年経ちましたが、日本の色々な経済知識や伝統文化等を学びました。私は将来自分の化粧品のブランドを作って会社を経営するつもりです。日本製品のような人気のある化粧品やお洒落な容器のブランドを自分でを作って会社を経営したいです。そのため色々な経営能力や経営戦略の知識がなければならないと思います。だからこそ、現在、四日市大学の経済学部で経済経営について勉強しています。学校で販売方法や輸出入についての知識を学んでいます。

経済学部経済経営学科3年生
カ ハンハン

四日市徹夜おどり

三重県四日市市の四日市ドームで、9月の9日から10日にかけて「四日市徹夜おどり」が行なわれ、ネパールの留学生ギミレ スニタさん、チャパガイ ビニタさん、ブペンドラ ケシさん、パタク サンディプさんがネパール文化舞踊を披露しました。

参加したスニタさんとビニタさんに聞いてみました。

「私達チームネパールの4人は、夏休み中に練習をしました。当日会場に着き民族衣装に着替えた後、最終練習をし、舞台上がりました。300人ぐらいの前で踊ると思うと、緊張しました。私達が踊り始めたら、会場にいた皆様から応援して頂いて、そのお陰で、更に楽しく踊る事ができました。自分達のダンスを終え、プロがやっているベリーダンスや日系ブラジル人のダンスも見ることができました。このイベントをきっかけにして私達は今後の国際交流や他のイベントにも出演しようと思っています。このような機会を頂いた皆様に心より感謝しております」。



経済学部経済経営学科2年生
サヒ ラダ

研修旅行

9月4、5日に、日本人と留学生で研修旅行に行ってきました。1日目は長野県に行きました。トマトの見学ができ、ちょっとずつ皆でもらうこともできました。そこで面白かったのはぴったり200g収穫した人が賞品としてコーンをもらったことです。バスでの移動時間が長かったですが、楽しいところだったので疲れはありませんでした。

その日泊まった所は昼神温泉でした。夜の食事後に温泉に入りました。その後皆で集まって、ゲームやりました。ゲームが面白すぎて笑いが止まりませんでした。そして先生たちにお菓子や飲み物ももらって、各部屋に行って寝ました。

2日目は、朝食をとってからホテルを出発しました。目的地は松本市へ向かいました。道でりんごなどの木がたくさんあったところを見ながら松本市へ到着しました。有名な松本城を見学して写真もたくさん撮ることができました。それで味噌の工場を見学し、味噌の作り方や、また、味噌を作る期間などのことも知りました。その後皆でご飯を食べて、大学へ向かいました。

2日間のうちにたくさんの友達ができ、先輩や後輩皆と仲良くなることができたところがなによりも良かったです。2日間の研修旅行はあっという間に終わりました。

環境情報学部環境情報学科3年
スレスタ ラシム バハドゥアー

研修旅行

9/4～9/5に行われた研修旅行に参加しました。2日間とも晴天に恵まれ、行程も予定通り行われ2日間を楽しく過ごすことができました。活動を通してクラスの団結、協力をする姿勢の大切さを実感できたと思います。



1日目、トマトの摘み取りを体験しました。作業の大変さを実感しました。また、おいしいトマトの見方なども教えてもらいました。

ホテルは泉質もさることながら、山あいなたたずむ温泉宿は落ち着きます。阿智村と言えば、言わずと知れた星ふる村！都会の光害とは無縁の、自然に囲まれた静かなところ。山の中ですが、怖いということはありませんでした。

2日目は国宝松本城にいきました。松本城の1番上まで上がれましたがピーク時だったので凄く混雑して、とても中は暑かったです。松本城はこじんまりとしていますが見た目が重々しく、生で見ると迫力があってとてもカッコいいお城でした。

2日間はとても充実した楽しい研修旅行でした。

経済学部経済経営学科2年生
ゲン ロ



研修旅行

毎年、行なわれる研修旅行。今年は長野県でした。9月4日から5日までのその一泊二日の旅行に留学生六十五人と日本人の学生五人が参加しました。時間が短くても色々な事の体験できるチャンスがありました。

四日市大学から朝8時30分に出発した私たちは途中で南木曾郡にある日本の昔の家を見学し、近くにある阿智川の回りの景色を見てから、蕎麦屋さんで昼ごはんをたべました。そして下伊那郡の富草にあるトマト農園で、トマトを自分で収穫しました。自分でトマトをビニール袋に入れてちょうど200グラムになると、プレゼントがもえます。重さがピッタリになった人が何人もいました。プレゼントが何かと思ったら近くにある畑で朝収穫したコーンでした。そのトマト農園に行ったとき自分の実家の畑を思い出しました。それから私たちはまたバスに乗って泊まるホテルに行きました。



午後4時30分に長野県下伊那郡阿智村にある「湯多利の里伊那華」に着きました。下のほうにきれいな川があって周りもきれいな景色と静かなところにあるホテルでした。皆と色々なゲームをして夕食の後ゆっくり休みました。

次の日、朝ごはんを食べて長野県の有名な松本城を見学し、石井味噌を見学しました。

環境情報学部環境情報学科2年
ラナブル バハドゥル



ベトナムフェア in 四日市

四日市市とベトナムのハイフォン市が経済交流して四日市市の市民の皆様へベトナムの文化を紹介するために9月23日と24日に四日市市の商店街でベトナムフェアが開催されました。今回私はボランティアとしてベトナムフェアに参加しました。

当日、ベトナムの赤い国旗が商店街を包み込みました。ベトナムを離れて日本に住んでいる私は故郷を感じてとても感動しました。

23日と24日の11:00から両日とも先着100名様にチェーを配りました。チェーは甘い食べ物で学生さんたちに人気があります。高校生時代の私は友達とよく買って食べました。懐かしいです。この時間にフォーとバインセオも売られました。私はこちらでフォーを食べられるかなあと思いましたが、残念ながら時間がなく、売り切れて食べられませんでした。

またベトナムといえば、アオザイです。試着コーナーもあり、大人気でした。皆様の笑顔を見て私も嬉しかったです。日本人もベトナム人と同じですよ。アオザイがすごく似合っていました。ベトナムは日本では人気がないと思っていましたが、すごく人気がある事が分かり、嬉しかったです。

もう1つの良い印象を皆さんの心に残したのは簡単なベトナム語講座でした。こちらで簡単なベトナム語の意味と発音を皆さんに教えてあげました。日本語を最初勉強した時の私と同じでした。私の教える通りに真面目な顔をして頑張って発音してもらいました。発音は少し違いましたが、教えることができとてもうれしかったです。

そしてステージで竹琴「トルン」や横笛「サオ」の演奏がありました。2日間に渡るベトナムフェアが終わって色々なことを発見しました。またこの様なチャンスがあれば、参加したいと思います。皆さんもチャンスがあればぜひ参加してください。絶対楽しいですよ！

環境情報学部環境情報学科2年
ヴ ヴァン ナム



奨学金

下記の留学生に、留学生を対象とした奨学金が給付されました。
受給者の皆さん、おめでとうございます。

文部科学省外国人留学生学習奨励費 (日本学生支援機)

平成 29 年度《1 年間》

王 忠清(オウ チュウセイ、経済経営学科 2 年)

張 徳偉(チョウ トクイ、環境情報学科 2 年)

平成 29 年度《6 ヶ月間》

劉 嬌(リュウ キョウ、経済経営学科 2 年)

国際ソロプチミスト三重奨学金 (国際ソロプチミスト三重)

王 君(オウ クン、経済経営学科 3 年)



国際ソロプチミスト三重奨学金

授与式の様子

